

せったん

北摂・丹波支部ニュース

第178号 2018年11月15日

● 発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
● 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
● 神戸フコク生命海岸通ビル5階
● 行 TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802



「みんなでストップ! 患者負担増」 署名にご協力を!

患者負担を増やさないことを求める請願
(通称「みんなでストップ! 患者負担増」署名)

75歳以上の窓口負担を原則1割から2割と「2倍」にすることをはじめ、負担増が計画されています。すでに、この数年の間に70歳~74歳の窓口負担2割や入浴料の食料代や自治体の引き上げなどが実施されてきました。
これ以上の負担増がすすめられれば、必要な医療が受けにくくなります。高齢者だけでなく、すべての世代に負担のしかかります。
私たちは、お金の心配なく安心して受診できるように、以下の事項を求めます。

目標の値

- 75歳以上の窓口負担を原則1割から2割にしないこと
- 75歳以上の窓口負担を原則1割から2割にしないこと
- 受診するたびに100円~500円を窓口負担に上乗せしないこと
- 痛み止めなど、薬の「保険はずし」や患者負担増を行わないこと

目標の値

- 患者負担を増やさないでください
- 75歳以上の窓口負担を原則1割から2割にしないこと
- 受診するたびに100円~500円を窓口負担に上乗せしないこと
- 痛み止めなど、薬の「保険はずし」や患者負担増を行わないこと

一、お金の心配なく安心して受診できるように、窓口負担を軽減してください

氏名	〒	支 部

協会は、政府が進める患者負担増計画を阻止するために、「みんなでストップ! 患者負担増」署名に取り組んでいます。75歳以上の患者窓口負担の原則1割から2割への引き上げなどが計画されており、これらの制度改悪が実施されれば、高い窓口負担を理由に受診抑制が進みかねません。署名5万筆、会員参加率15%を目標として取り組み、署名グッズなどをお届けしています。署名と同時期に毎年好評の景品付きクイズチラシなどの大型宣伝も実施しています。

北摂・丹波支部としても署名1800筆、協力医療機関数31という目標を設定していますが、署名数は136筆にとどまっています。患者さんにも政府の狙いを知らせ、負担増計画をストップさせましょう。

署名用紙などのご注文・お問い合わせは、TEL 078-393-1807まで

☆北摂・丹波支部ニュースへの

投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1807 / FAX 078-393-1820

e-mail sanda-a@doc-net.or.jp 担当; 三田まで



小川氏がブラックライトを使い、手洗いでどこが洗えていないか指摘(上)、防護具の着脱などを実践する参加者(下)

医療安全管理対策研修会

自院の院内感染対策 実践形式で見直す

北摂・丹波支部は10月20日、三田市内で医療安全管理対策研修会「外来における感染防止対策」実践編を主催。済生会兵庫県病院感染対策認定看護師の小川麻由美氏が講師を務め、27人が参加した。

小川氏は「医療安全管理対策は、患者だけでなく医療者も感染させない、他の人(患者)に感染させない、感染を広げないために」

★参加者の感想

日常的に普遍的に実施するもの。患者の感染症の有無で感染予防を変えるものではない」とし、手指衛生を行うタイミングとして①患者に接する前、②無菌的操作の前、③体液暴露の可能性があった後、④患者に接した後、⑤患者周囲の環境に接した後の五つがあることを紹介した。

演習では、患者が外来で嘔吐した場面を想定した模擬吐しゃ物の処理、手袋・マスク・ガウンなど個人防護具の正しい装着と外し方、ブラックライトを使用した手洗いを学び、院内感染対策を実践形式で振り返った。

(看護師)

(PT)

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部主催 市民公開企画のご案内

ドキュメンタリー映画「種子」上映会&学習会 “たね”から考える 私たちの食と農

◆日時 11月17日(土) 15時～16時30分頃(開場14時30分)
◆会場 三田市総合福祉保健センター1階 多目的ホール
◆参加費 無料(どなたでもご参加いただけます)

※後援 三田市・三田市教育委員会

第1部 映画上映(15時～)

『種子(たね)ーみんなのもの? それとも企業の所有物?』

ラテンアメリカ8カ国のNGOや農民組織8団体が制作/日本語吹き替え版/2017年/39分



第2部 講演(15時50分～)

『たねから考える私たちの食と農』

(兵庫県農民運動連合会 芦田浅巳会長)

食の安全の基本となる種子。これまで米や大豆、麦の種子を守ってきた主要農作物種子法(種子法)が今年4月に廃止されました。これを受け、兵庫県保険医協会北摂・丹波支部は、種子法廃止による私たちの食や農業への影響を皆さんに知っていただくため、市民公開企画を開催します。

第1部では、映画「種子ーみんなのもの?それとも企業の所有物?」を鑑賞します。この作品は、種子が多国籍企業に独占されるようになったことに対し、ラテンアメリカの人びとの食料主権を守る闘いを描いたドキュメンタリー作品です。

第2部では、ご自身も農家で、種子法廃止に反対してきた「兵庫県農民運動連合会」の芦田浅巳会長に、種子法廃止による食や農業への影響、兵庫県が種子を守るため制定した条例などについてご講演いただきます。

映画と講演を通じて、生命と健康の原点である「食の安全」「農業」についてあらためて考える機会としたいと思います。どなたさまもふるってご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは兵庫県保険医協会(TEL 078-393-1807) 三田・石本まで

参加申込 FAX 078-393-1820

参加申込は下記にご記入の上、兵庫県保険医協会までFAXにて送信ください。

■市民公開学習会に()人参加します 医療機関名()

氏名

☎

※当日の受付も可能ですが、定員がございますので、できるだけ事前にFAXまたはお電話でお申込ください

〈感想文〉健康と医療について語り合う会

分かりやすい内容で 食生活振り返る良い機会に



今回初めて「健康と医療について語り合う会」の講演に参加させていただき、演じた。テーマは「糖尿病と食生活」でした。

糖尿病を発症した患者さんには、生活の中で制限を強いられ、辛いことを辛く、寂しく感じる方もいらっしゃると思います。

中々でも食事に関して、我慢を強いられることは惨めに感じる人もいらっしゃると思います。食生活が楽しみだという方はたくさんいます。私も同じく食べることは大好きです。身近なことをテーマに、参加者



糖尿病と食生活の関係性について分かりやすく解説する和久先生(上)、終了後は和久先生を囲み記念撮影した(下)

の皆さんが、和久先生のお話にもメモを取りながら、真剣な様子で聴講しておられました。

今回の講演では食べ物の制限や工夫、運動習慣を続ける方法を、具体的に教えてくださいました。また、なぜそれが必要なのかも説明していただき、「なるほ

ど」といううなずきや表情が会場のあちこちに見受けられました。質疑応答の時間は疑問を解決できるような一つひとつについて話してくださいました。和久先生の優しいお人柄もあり、ほのぼのとした雰囲気のおかげで、とても良かったです。また、手話通訳もあり、私にとっては、わりやすい手話表現の工夫を勉強する機会にもなりました。

食欲の秋を迎えるにあたり自分の食生活を振り返る良い時間となりました。ありがとうございました。

【兵庫手話通訳問題研究会 会員 Y・E】